

# 第4回定例会

3名の議員が町政全般にわたり理事者の考えを質しました。

・一般質問①

## 一般質問



小松正義 議員

平成27年度予算編成の

概要について

平成27年度の予算規模は！

町長、クリニックさろま関連事業により  
最大55億9000万円を見込んでいます。

【質問】平成27年度一般会計予算編成概要について伺います。

【答弁】(町長)

第4期総合計画前期5年間のための年度であり、将来を展望したコスト意識を持ち、限られた財源と人員の中で最大限の事務事業を發揮する姿勢で臨むことを基本理念とし、総額は最大55億9000万円程度となり、26年度と比較し1億3000万円ほどの増額見込みで、この要因はクリニックさろま27年度工事分とCT診断装置等医療機器整備事業費計上によるものです。

【質問】中期財政計画からして減額されているが要因を伺います。

【答弁】(企画財政課長)

改めて計画内容を精査しており、クリニック建設事業も26年度からの継続事業として行われている中で、さらに事業内容が精査されるなどして減額になってきています。

【質問】基金の状況及び26年度の見込みと、ふるさと納税の状況及び27年度に向けた取り組みについて伺います。

【答弁】(町長)

平成25年度末の一般会計分基金保有額は45億3000万円、備荒資金9億3000万円、全体で54億6000万円です。平成26年度の一般会計分保有額は1000万円減の45億2000万円の見込みです。

### 北海道サロマふるさと納税

#### 特典 コレクション

1 寄付金額5,000円コース



A かぼちゃのチーズケーキ B サロマ銘薬詰合せ C 鮭トバ珍珠セット

ふるさと納税特典コレクションの一例

ふるさと納税は、現状で10名の方から寄附の申出をいただいています。物産館みりの商品を使った特典一覧リーフレットなどでPRし、申出書の中に寄附動機の記入欄を設定、寄附者からは佐呂間町での生活希望の記入もあり手応えを感じています。

【答弁】(企画財政課長)

平成27年度開始予定の佐呂間サポーターズ倶楽部も含

め、バリエーションを広げ都会の方々と佐呂間町の接点になるよう将来を見据えて努力、検討していく考えです。

【質問】小中学校の学力調査及び結果を受けての27年度に向けた取り組みについて、予算編成は考えているか伺います。

【答弁】(教育長)

今年度より各学校の先生方にも参画願ひ佐呂間町学力向上推進委員会を立ち上げ、学力向上のために何が必要かを協議し、また学習状況調査の結果から、特に家庭での学習時間が少ない傾向があったので、小学生を対象とした家庭学習の手引きを作成し、有効活用されるよう学校を通じ保護者に周知しております。

教材の整備関係では今年度試験的に実物投影機を使用、これがノート指導を初め、学力向上に有効であるということなので、全学年に配置したいと考えております。また、学習の手引きの見直しがあった場合には、印刷費等の増加が考えられます。そのほか、法律の一部改正により教育大綱の策定に新たな予算が必要になることも考えられます。

# 第4回定例会

・一般質問②



但木早苗議員

平成27年度から実施が予定されている

【質問】①学童保育専用施設の建設計画について

常任委員会での説明ではオンライン建設事業終了後ということですが、対象が6年生までに広がったことを考えると早い施設の準備が必要と思われるのですが。

【答弁】(町長)

佐呂間町子ども・子育て会議の中でもこのとおりの説明をしており、27年の中で十分に考え、28年の建設に向かって進めていくという考えは今でも変わっておりません。【質問】②専用施設の建設にあたり、本来の目的・役割が果たせる学童保育へのついでについて

平成9年の児童福祉法の改正により放課後児童健全育成

本来の目的、役割が果たせる学童保育づくりを！

町長、現在も本来の目的、役割を果たしており、専用施設においても継続していく。

事業が定められ、ここでの目的は適切な遊び及び生活の場を与えることとされています。児童館は法的なところから見ると健全な遊びを与えるというところとまっています。

そこが大きな違いかと思うのですが、子供を産み育てる環境づくりの一環としての学童保育への目指して欲しいと思います。

【答弁】(町長)

現在の児童クラブについても、専用区間がないこと以外に本来の目的や役割を果たして運営していることをご理解賜りたいと思います。

【質問】③学校休業日などにおける図書館の開館について

常任委員会の中でも児童館が図書館と併設している利点

を活かしたいとの説明を受けました。そこで、学校休業日等の図書館開館は時差出勤や代休などの対応を考えたうえでできないものでしょうか。

【答弁】(町長)

現状の勤務体制の中では困難であり、公共施設を365日開ける事はできません。なお、児童館には図鑑や漫画本などある程度の図書があるので、それを利用していただきたいと思います。

【質問】④学童保育での障がい児受け入れについて

放課後デイサービス事業もやっていますが、学童保育の障がい児受け入れを今後検討していただきたいと思います。

【答弁】(町長)

厚生員は現在3名で運営しており、障がい児支援を行う

自衛隊への

名簿提供について

【質問】町も自衛隊への名簿提供をしているとのことですが、個人情報提供することには問題なのではないでしょうか。私は中止すべきではないかと考えますが、町長の考えを伺います。

【答弁】(町長)

自衛隊法施行令、また佐呂間町個人情報保護条例上も情報提供ができることから、今後においても依頼があった場合には法令等に基づき適切な対応を行っていきたいと考えています。高校生については今までもおりの形で対応となりますが、中学生については政府の見解もあり閲覧という形の中で取り扱わせて頂きたいと考えています。

指導員は配置しておらず、今後とも配置する考えはありませんが、他の児童と協調性を持って活動できる児童であれば、児童館の利用を制限するものではありません。

# 第4回定例会

・一般質問③



三田真美議員

## 電気料金値上げによる影響と

### 節電対策は！

町長、年間1162万円の増額を提示されており、ノー残業デーやできるところからのLED化などに取り組んでいく。

## 公共施設等の節電について

【質問】電気料金の値上げにより、一般家庭にも大きな負担になっていますが、公共施設などを計画的にLEDへ移行していくなどの対策も必要だと思いますが、電気料金値上げに伴う今後の増加分及び節電対策について伺います。

【答弁】(町長)

町の予算に関する電気料金は法人契約であり、1年契約が満了して次の契約から新料金体制になります。役場庁舎を初めとする22の公共施設の値上げ率は、施設の規模等によって1.9〜23.1%で、役場庁舎だけですと16.4%の値上げになっています。全体の年間の影響額は1162万円の増額を提示されていま

す。この増加分は平成27年度からになります。

節電については、現在も行っているOA機器の節電や毎週2回のノー残業デーとして午後6時で退庁するなど、今後職員一丸となって節電対策に取り組みます。

公共施設のLED化については、改修や新築したところはLED化を図っており、街灯についても電球が切れた段階でLEDと交換をしています。

【質問】LED化は全体どれくらい進んでいますか。また、公共施設に太陽光などの自然エネルギーを取り込む予定はありますか。

【答弁】(総務課長)  
LED化は全体の約10%です。

【答弁】(町長)

現時点では太陽光発電などの町独自のエネルギー政策は考えていませんが、企業が行う自然エネルギーなどについては協力していく考えです。



企業が行っているソーラー発電施設

## 平成27年度の教育

### 行政について

【質問】地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が27年4月から施行されます。教育委員会制度が変わり、全ての地方公共団体に総合教育会議を設置し、教育に関する大綱を首長が策定するとあります。大綱策定の考え方を伺います。

【答弁】(町長)

これまでの教育委員会が課題としていた部分を改革するために、教育委員長と教育長のどちらの責任かわからない点、教育委員会の審議が形骸化されている点、地域住民の民意が十分に反映されていない点、地方教育行政に問題がある場合に国が最終的に責任を果たされるような組織にする必要があるなど、教育行政においては福祉や地域振興などの一般行政との緊密な連携が必要です。

大綱については、国の教育基本法の方針を参考とし、地域の事情に応じ各地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策を協議して策定したいと考えます。